

# Rock The Life! ezorock

2013.4  
vol.16

4月からのNPO法人化、おめでとうございます。多くの周りの方々が皆さんの活動を見る目は、確実に変わってくるでしょう！新しいステージに立って、地域で、社会で、様々な課題に対してしっかり向き合い、思いっきり活躍してくれることを期待しています。これからの時代の担い手は、間違いなく皆さんの世代です！認定NPO法人 北海道市民環境ネットワーク 理事長 秋山 孝二

威勢のいい政権の経済成長路線が、人口減少社会でうまくゆくとは到底考えられない。過去を郷愁する、力づく社会づくりではこれからの時代は開けないと思う。だからこそ、既成概念にとらわれず若者が未来を創るトレーニング道場としての新生ezorockに期待しています。ねおすの「そだちば」人生道場との連携もよろしく願います。NPO法人ねおす 理事長 高木 晴光

2011年に起きた東日本大震災。原発事故から様々な不安やストレスをかかえた福島の子どもたちと、道内各地で6回に及ぶふくしまキッズの活動を展開できた。多くのボランティアの協力体制を草野代表を筆頭にezorock/パワーレーニング道場としての新生ezorockに期待しています。深く感謝の意を伝えたい。人と、地域と地域、大切な心と心を繋ぐ活動の広がりに期待し、ezorockの益々の創意と未来に祝福したい。ふくしまキッズ実行委員会 委員長 進士 徹

ついにNPO法人化。本当に、おめでとうございます。やりたいことをやる団体から、やるべきことをやる団体への進化ですね。人は誰でも必ず、若者→中年→老年になり、パトンを誰かに渡すことを考えます。どんなパトンをどう渡すのか？それは受け取ってもらえるパトンのか？を、常に考えることができるNPO法人になってもらえれば嬉しいです。NPO法人旧小熊倶楽部 東田 秀美

草野さんに初めてお会いしたのはもうだいぶ前のことと記憶しています。以来、お会いするたびに感じるのは、(良い意味で)「プレない人だな、この人…」ということ。ひるがえて、ときにワカモノに対してエラそうな態度の自分を大いに反省したりします。「代表がどんなときも、いつまでたってもエラそうでない団体、ezorockの大いなる魅力のひとつ、ですね。北海学園大学法学部教授 樽見 弘紀

若者の視点で幅広い参加型のイベントを繰り広げる情熱に、いつも感動しています。特にEarthday Ezoの立ち上げでは、素晴らしい企画力と実行力を発揮され、大きなムーブメントを起こしました。今後も地域に根ざした活動と、多くの若者を巻き込み、導く原動力にエールを送ります。バタゴニア札幌北 田部 井 美里

## 応援メッセージ

社会に対してのアプローチは人それぞれで、大多数の人は、まわりが何をやっているのかということに影響を受けて、何となく行動を決めているケースが多いと思います。そのなかでezorockは意思が明確で、自分たちがどう社会にコミットしていきたいか、いくべきかを把握していると思います。今後もあるようなアクションを通じて、まわりにいる人たちに巻き込んで、良い影響を与え続けてください。株式会社ノースグラフィック 町田 博典

ezorockという北海道に光る星を、皆が見ています。闇夜に光る星は、人々に道筋を示すものです。これからも輝き続けますように。青木将幸ファンリテーター事務所 青木 将幸

ezorockの得意は何？ ezorockの社会での役割は何？ ezorockでのあなたの役割は何？ 社会にある様々な課題 解決するのは担い手 創意工夫+行動=担い手 ezorockの得意を活かそう！ ezorockの仲間を増やそう！ ezorockの可能性を夢みよう！ 一般社団法人プロジェクトデザインセンター 代表理事 加納 尚明

単なるアシードジャパンの分派かに見えた貴会が瞬く間に独自の領域を確立し、頼りない若者に見えた皆様が立派な社会人となった姿を拝見するにつれ、今後の健全な発展を望むばかりです。私と貴会の接点が、個から始まったように、今後も個を殺さない組織で在って下さい。今後は会社としても微力ながらバックアップしていくつもりです。生活に負けないで頑張ってください。株式会社ソーラスター 代表取締役 石川 茂



みなさん、たくさんの応援メッセージ本当にありがとうございました。2001年にサークルのような「ノリ」でありながらも、情熱的なメンバーと共に立ち上げた団体がここまで続けられるなんて誰が想像できたでしょうか。たくさんの方の支えに心から感謝します。 「ここまで続けてこれたのは、草野さんの力があってからでしょう」と嬉しい言葉をいただくことがあります。もちろん、私の力も必要だったのかもしれませんが、あくまで「代表」というひとつの役割を担っていただけたら、いつも思います。私自身も、ezorockの「大ファン」であり、この組織の可能性を信じている一人の「メンバー」であることにはみなさんと

変わりません。そして、みなさんと同じように、ezorockからたくさんのごことを学ばせていただいた一人です。「プロセスから参加すること」「世代間の対話が必要なこと」「チームでルールを目指すこと」「まずは、チャレンジしてみること」「すべての人から好かれる必要はないこと」これらは、すべて活動の中から見つけたことで、私にとっても大切な言葉です。最後に、団体名の「ROCK」という言葉には、音楽のロック以外にも「心が揺れる・感動する」という意味が込められています。社会の変化の一步は、小さな変化から始まることを信じて、活動を展開していきます。「世代間」を切り口に展開する新たなezorockにぜひ、ご注目ください。

環境NGO ezorock の歴史特別号 vol.16 2013.4

## Rock The Life! ezorock

〒064-0809 札幌市中央区南9条西3丁目1-7  
TEL/FAX 011-562-0081 E-mail info@ezorock.org  
WEB http://www.ezorock.org/

http://www.facebook.com/ezorock/ http://twitter.com/ezorock/



環境NGO ezorock

20130401



### 特集 環境NGO ezorockのこれまでの歩み 2000-2012 History

数字から見るエゾロック  
エゾロック用語  
応援メッセージ

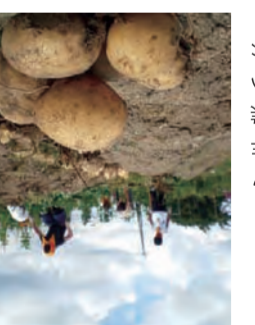
All written by wakana(ezorocker)

今月の写真

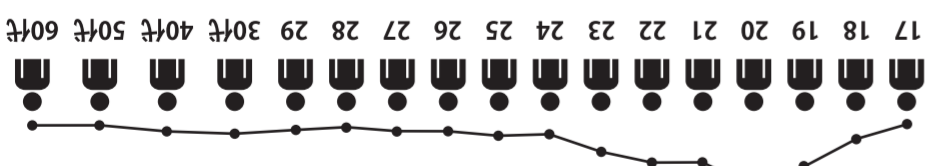
国際青年環境NGO A SEED JAPANの北海道チーム「ezorock」が設立される際に作成された企画書の一部。

## 選用品目

大日本理... (transcription of the list of items and their quantities)



120 kg  
【じゃがいも収穫量】(2012年度)



23.7 歳  
【メンバーの平均年齢】

13,602 枚  
【年間写真撮影枚数】(2012年度)

5 回  
【事務所移転回数】

5 時間  
【ラジオ放送回数】

603 枚  
【1日で集まったエコポイント枚数】

88%  
【環境対策活動実施回数】

5:5  
【メンバーの男女比率】

189.7 時間  
【ラジオ放送時間】

16 カ所  
【これまで活動した地域】

5:5  
【メンバーの男女比率】

